

第 3 回 倉 渕 地 域 審 議 会

その他の質疑

内容区分	No	質疑	回答
公民館図書室について	1	<p>現在、公民館図書室には職員用の図書検索端末しか設置されていない。改修後に住民が自由に利用できる図書検索端末を設置できないか。</p>	<p>図書館と公民館の連携による、「図書館総合情報システム」の業務用端末の設置により、図書館の本の取り寄せや返却ができる公民館が、市内に倉渕公民館をはじめ全部で6館ある。</p> <p>現状、この6公民館図書室に利用者専用の検索機が設置されておらず、公民館図書室を窓口として図書館の本を借りる時は、各館に1台ずつ設置してある業務用端末で職員が検索し、図書館に予約をしている。</p> <p>倉渕公民館図書室は支所の1階に移転するが、同じフロアに来庁者用インターネット端末が設置される。自身での検索を希望される方は、この端末により図書館のホームページ上の検索機能を活用できる。</p> <p>このように、そばにあるインターネット端末が検索機同等の機能を持つので、改めての利用者専用の検索機の設置は考えていない。利用者の利便性向上や費用対効果等の観点から、引き続き実態把握や検証に努めていきたい。</p>

<p>防災対策について</p>	<p>1</p>	<p>防災組織構築のモデル地区に住んでいるが、災害時は電話が使用できず、避難情報の伝達等が問題となる。避難の判断基準や手順等を徹底して教えて欲しい。さらに、住民の防災意識を高めて欲しい。</p> <p>自宅は裏が山で、また、両脇に水路がある。避難は、川の水の色や量等で自主的に判断し、親戚の家等に避難する。倉渕地域はテレビが共同受信なので、切断されてしまうと、テレビから情報が得られなくなる。</p>	<p>市では、災害の発生で避難の必要がある場合、避難勧告または避難指示を発令する。発令の基準は、洪水予報や土砂災害警戒情報を目安とし、これに加え、流域の雨量や河川水位の状況、气象台、河川管理者、砂防関係機関の助言、現場の巡視報告、通報等を総合的に判断して迅速に行う。</p> <p>しかし、被害の進行が急激な場合等には避難勧告等が適切な時期に発令できない状況等もあり、災害発生時の初動体制においては、市民の皆様一人ひとりの日頃からの備えや災害発生時における適切な判断、早めの避難が非常に重要になるものと考えている。</p> <p>市及び消防局では、防災出前講座や地域の防災訓練での指導等を通じて防災に関する知識等の普及啓発に努めているので、地域での防災活動を推進する際には、活用してもらいたいと思う。</p> <p>また、本市では今年度、地域に暮らす住民の皆様の助けあい、支えあいの輪を活かし、地域の防災力を向上させていくことを目的として、「災害緊急連絡網」及び「災害時要援護者支援プラン」のモデル事業を推進している。</p> <p>事業内容については、「災害緊急連絡網」は、地区内に住む住民に避難情報等を伝達する仕組みとして整備（次項へ続く）</p>
-----------------	----------	--	--

防災対策について			<p>(前項の続き)</p> <p>するもので、電話や直接の声かけなどの連絡手段を利用し、災害時だけでなく日常の地域の輪作りにも活用する。</p> <p>「災害時要援護者支援プラン」は、一人では避難が困難な要援護者を地域で支援して避難誘導等を行う仕組みとして整備するもので、来年度以降段階的に全市に拡大していきたいと考えている。</p>
	2	<p>自宅裏山に火薬庫があるらしく、不安である。この施設の現状について教えて欲しい。</p>	<p>現地を確認し、敷地入り口の門により中には入れないが、会社名の表示があること、見える範囲内は草刈等の管理がされている状況等が確認できた。群馬県に問い合わせたところ、この火薬庫は、昭和50年代に火薬類取締法に基づく県の設置許可を受けた施設であり、「完成したおもちゃ花火」の保管場所で建物はコンクリート製である、とのことであった。施設構造や住宅や公共施設までの保安距離等法律に則った設置基準を満たし、また、現在でも、県が年1回定期的な立ち入り検査を実施している。また、高崎市等広域消防局や倉淵分署でも、消防法の危険物取扱の基準により、複数ある建物の内1棟を対象に年1回定期的な立ち入り検査を実施しているとのことである。</p>

過疎化対策について	1	<p>過疎対策は合併前から現在に至るまで、行政で様々な取り組みがされていると思う。また、民間レベルにおいても、NPO 団体・地域づくり団体・農業団体・有志団体等で様々な地域活性化の取り組みがされているが、結局のところ「雇用の場が少ないことによる若年層の流出及びそれに伴う過疎化」という問題の核心に触れておらず、過疎化に歯止めが掛かっていないのが現状である。今年度、倉渕地域の新小学生が10人であるという危機的な現実をしっかりと受け止め、今こそ官・民・学の知力を集結して過疎化を防いでいかなければいけないと思うが、行政ではそのための対策を検討しているか。</p>	<p>本市の過疎対策は、過疎地域自立促進特別措置法に基づき、倉渕地域の自立促進を図るため、平成22年度から平成27年度を計画期間とした「高崎市過疎地域自立促進計画」を策定し、事業を実施している。</p> <p>これまで、道路交通網をはじめ、簡易水道、公営住宅、教育施設、産業基盤整備や合併処理浄化槽の推進など生活環境・生活基盤の整備を行ってきた。</p> <p>また、遊休農地活用と都市農村交流を目指したクラインガルテンの導入や、温泉を活用した総合福祉センターの建設など福祉施設の整備とともに、就業の場の創設も図っている。</p> <p>しかし、過疎化を食い止めるまでには至っておらず、自然環境の景観保全や活用、地場産業の振興、子育てしやすい環境づくり、若者定住対策、高齢者福祉対策、観光の振興による交流人口の創出や地域資源の活用など、様々な取り組みによる過疎対策が引き続き必要であると考えている。</p>
	2	<p>倉渕小学校の1年生10名の内女子は2名であり、幼・小・中を地域で過ごす。少子化の中、子育て中の世代が倉渕に住んで良かったと思える施策を具体化して欲しい。過疎対策は、行政と住民との連携が必須と考える。行政とボランティアで小回りの効く運動体を作り、倉渕を発見・発信できないか。</p>	<p>過疎対策は仕事につける場がないと厳しい。倉渕地域は立地条件が厳しく、企業の誘致は難しい。小栗の里や廃校の利活用を通じて雇用の道を開くことを検討していくことが大事だと思う。</p> <p>通勤、通院、通学への対策は考えていく。 (次項へ続く)</p>

過疎化対策について			<p>(前項の続き)</p> <p>倉渕地域で行いたいことはあるが、雇用が増える知恵はなかなか出てこない。ただ、小栗の里の運営を倉渕地域外に任せることはさせたくないと考えている。</p> <p>倉渕地域での対策を担当した立場からは、過疎化・少子化の課題は行政だけの対策ではなく、地域組織等においても、新規就農者の受け入れ・世代間の交流・通学児童の安全確保等いろいろな取り組みが行われているところである。しかし、より一層行政・地域住民・教育組織が一体となった対策が必要だと認識している。</p> <p>過疎対策・住み良い環境づくりを推進していくために、ボランティアも視野に入れた地域住民等との連携の場づくりを含め、検討してまいりたいと考えている。</p>
不耕作地の有効活用について	1	不耕作地が増えている。ソバや大豆などは耕作しやすいのでソバ刈機等を購入していただければ不耕作地も減ると思う。ぜひ、25年度予算での導入を要望する。	<p>不耕作地が増加傾向にあることは承知している。また、ソバが雑草の育成を抑えていくことの実践例も聞いている。農業委員による調査等を進めているところだが、不耕作地の多さや有効活用の対策等に苦慮している状況である。質問にあったソバ刈機等の購入は、市で単独購入してのリースや補助事業はない。25年度予算での導入とのことであるが、国庫補助や県費補助は予算編成上来年度の対応は難しいと思われる。事(次項へ続く)</p>

不耕作地の有効活用について			(前項の続き) 業要望があり、採択条件を満たせば25年度に要望し、採択となれば26年度予算で実施(機械購入)になると思われる。
	2	県、国に対して、どのような補助で対応してもらえるか。	団体に購入するための国庫補助事業と県費補助事業がある。考え方として、国庫補助事業が不採択になった場合に県費補助事業の導入ということになる。 また、高崎市の農業公社の補助については「高崎市担い手育成・経営基盤強化支援事業」があり、補助率が3分の1以内で、限度額が200万円である。任意組織の場合は、3名以上の農業者によって組織した団体という条件になっている。また、これには農業振興に資する担い手農家等の、いくつかの条件があるが、このような補助事業がある。
倉渕小学校校舎のトイレ改修について	1	小学校統合のため、耐震基準を満たす改修工事が行われたが、校舎のトイレに洋式便器が数個しかない。和式便器を上手に使えない児童がいるため、各階のトイレに洋式便器を設置して欲しい。	トイレの洋式化は、各方面から要望を頂いているが、市内の小中学校の洋式化率はまだ低い状況である。 現在ではほとんどの家庭が洋式便器であるということ踏まえ、すべてのトイレに最低1箇所の洋式便器をとりつける計画で作業を進めている。 倉渕小は、新旧校舎あわせて10基の洋式便器が設置済みであるが、使用頻度が高いと思われる校舎2階西側のトイレに洋式便器がないので、これからの課題(次項へ続く)

<p>倉渕小学校校舎のトイレ改修について</p>			<p>(前項の続き)</p> <p>と認識している。なお、本年度中に旧校舎東側系統の和式便器1基を破損のため洋式便器に改修する予定となっている。</p> <p>学校の改修は、ここ数年は、耐震対策を重点的に行っていかなければならない。ただ、トイレを綺麗にしないと使えない人がいることは認識している。</p> <p>他にも防暑対策も重要だと思う。昨年から学校側に防暑対策として噴霧器や遮光ネットを使う等選択してもらっている。</p>
--------------------------	--	--	--